

## 令和8年度 東京都立あきる野学園 学校経営計画

本校は、肢体不自由教育部門及び知的障害教育部門が併設され、小学部・中学部・高等部の学部があることから、各教育部門の専門性を連動させ、発達段階に応じたきめ細かな指導を行う。

そして、東京都の教育目標、本校の教育目標及び東京都特別支援教育推進計画(第二期)の基本理念である「共生社会の実現に向け、障害のある幼児・児童・生徒の自立を目指し、一人一人の能力を最大限に伸ばして、社会参加・貢献できる人間を育成」を具現化させる学校を目指す。

### 1 目指す学校像

#### 「日本一やさしい学校 Act II」

- (1) 児童・生徒が、分かる・できる喜びを感じることのできる学校（児童・生徒にとってやさしい学校）
- (2) 都民・保護者のニーズに的確に応えられる学校（都民・保護者にとってやさしい学校）
- (3) 地域関係機関等と連携を図り、地域に貢献できる学校（地域にとってやさしい学校）
- (4) 教職員一人一人が自分の力を発揮でき、やりがいを実感できる学校（教職員にとってやさしい学校）



### 2 「日本一やさしい学校」の10の取組み

- ① 人と人を結び、人を思いやる優しい人がいる学校
- ② むずかしいことも分かりやすく、楽しく、やさしく学べる学校
- ③ ゆっくり、ていねいに、くりかえし、やさしく教える学校
- ④ ひとりひとりにやさしく、かけがえのない命と人生を支える学校
- ⑤ 我が子を安心して通わせたい、信頼して任せたいと願う保護者にやさしい学校
- ⑥ 話しやすく、相談しやすく、頼りになる地域の人たちにやさしい学校

- ⑦ 入りやすく、動きやすく、使いやすい来校者にやさしい学校
- ⑧ 心も体も動きやすく、互いを尊重しあう職員にやさしい学校
- ⑨ ねぎらい、感謝の気持ちが自然に交わせる学校
- ⑩ しずかに、おだやかに、ゆったりと時間が流れる学校

### 3 教育目標

本校は、すすんで社会へ参加する自立した人間の育成を目指す。

- ア 自分の可能性をできるだけひろげよう。
- イ 社会人として求められる力を身に着けよう。
- ウ 社会の在り方を知り、自らすすんで参加しよう。

### 4 中期目標と方策

- (1) 特色ある教育活動の充実及び児童・生徒の学びの確実な保障
  - ア 現行の学習指導要領を踏まえた教育課程の編成・実施・管理の充実
  - イ 両教育部門が連携した研究活動等による各教科指導等の充実
  - ウ 両教育部門が連携した研究活動等による自立活動の指導の充実
  - エ ICT 機器等を有効活用した教育活動の充実
- (2) 安全・安心な学習環境の整備及び地域と連携した防災対策等の強化
  - ア 実際を想定した避難訓練や宿泊防災訓練等の実施と学校全体の防災意識及び対応力の向上
  - イ 定期的な安全点検による施設・設備の適切な維持・管理
  - ウ 防災・防犯・事故等の未然防止に関する指導の充実
- (3) 人権尊重の精神に基づく教育活動の推進
  - ア いじめや体罰、不適切な指導等のない人権に配慮した教育の徹底と早期発見・早期対応・未然防止に関する組織的な取組の充実
  - イ 教育活動全体を通じた道徳教育の推進
  - ウ 児童・生徒の心情や生活年齢等に配慮し、人権を尊重する教育活動の推進
- (4) 地域に開かれた教育の展開及び特別支援教育に関する理解推進
  - ア 地域関係機関(教育・福祉・労働・医療等)及び企業との連携促進
  - イ 関係市教育委員会と連携した副籍制度、交流及び共同学習の充実
  - ウ エリア内の小・中学校及び都立高等学校への支援の強化
  - エ 様々なツールや機会を活用した保護者及び地域等への情報発信と内容の充実
- (5) 学校における働き方改革の推進
  - ア 業務の効率化や職場環境の整備等の促進
  - イ ライフ・ワークバランスに関する教職員の意識改革の徹底
  - ウ 年休取得の促進と超過勤務の改善

### 5 今年度の取組と目標(成果指標)

【令和8年度の取組み達成のためのテーマ】 「分かって楽しい★あきる野学園 2026」

本年度は、取組の質の向上を図るため、目標で示す肯定的評価とは、4件法で「十分」「A」に該当する割合を示します。

(1) 学習指導(自立活動を含む)

NO	具体的な取組及び目標 (成果指標)	
1	取組	個別指導計画等に基づいた個に応じた適切な指導の実施
	目標	学校評価での保護者の学習指導に関する肯定的評価90%以上
2	取組	GIGA スクール、スマートスクールによる ICT 機器を活用した指導の実施
	目標	学校評価での保護者の ICT 機器を活用した指導に関する肯定的評価90%以上
3	取組	自立活動の目標及び具体的指導内容の適切な設定及び実施
	目標	学校評価での保護者の自立活動に関する肯定的評価90%以上
4	取組	関係機関と連携した主権者教育・消費者教育の充実(高等部)
	目標	学校評価における保護者の主権者教育・消費者教育に関する肯定的評価90%以上
5	取組	デジタル展覧会(図画工作・美術、書道等)の実施及び校内展示の充実
	目標	デジタル展覧会3回/年開催 校内展示に関する肯定的評価90%以上

(2) 進路指導

NO	具体的な取組及び目標 (成果指標)	
1	取組	進路学習、現場実習、進路相談を通じた全生徒の進路希望の実現
	目標	高等部第3学年生徒の進路希望の実現度100%
2	取組	保護者に対する進路指導に関する学習会等の実施による情報提供の充実
	目標	学校評価での保護者の進路指導の情報提供に関する肯定的評価90%以上
3	取組	キャリアパスポートを有効活用したキャリア教育の充実
	目標	学校評価における保護者のキャリア教育に関する肯定的評価90%以上
4	取組	移行支援計画に基づく卒業生の追指導の実施
	目標	卒後1年目全進路先訪問、保護者等の求めに応じた支援会議の実施100%
5	取組	生徒の希望する職種等での現場実習等の実施(高等部)
	目標	希望達成率100%

(3) 生活指導

NO	具体的な取組及び目標 (成果指標)	
1	取組	アンケート等によるいじめの早期発見・対応の徹底と計画的な教員研修の実施
	目標	教員研修3回以上/年実施、いじめ早期発見・対応による解決率100%
2	取組	高等部全HRでの「SOSの出し方に関する指導」の実施
	目標	2回/年高等部全HRで実施。生命にかかわる重大事故0件/年
3	取組	防災教育推進会議の検討内容を踏まえた避難訓練等の計画的な実施
	目標	合同避難訓練11回以上/年実施及び合同防災訓練1回/年の実施
4	取組	「SNS東京ルール」を踏まえた適切な活用のための指導の実施
	目標	SNSに関する事故及びトラブル0件/年、高等部全HRで1回/月指導
5	取組	挨拶の励行と人権に配慮した呼称、言葉遣いの徹底及び教職員研修の実施
	目標	全児童・生徒・教職員、教職員研修及び自己診断等の実施(3回/年)

(4) 特別活動・その他

NO	具体的な取組及び目標 (成果指標)	
1	取組	学校行事(校外学習等)を各学習活動と関連させ計画的に実施
	目標	生徒・保護者による学校評価での学校行事に関する肯定的評価90%以上

2	取組	社会貢献活動の計画的な実施によるボランティアマインドの醸成
	目標	両部門で、10回以上/年実施、地域等からの肯定的評価90%以上
3	取組	学校図書館の整備及び読書活動の推進
	目標	図書貸し出し件数2500件
4	取組	【再掲】文化・芸術等を通じた両部門間の校内交流の促進
	目標	【再掲】HP等でのデジタル美術展の開催2回/年、校内ギャラリーの定期的な展示替え(年3回以上)
5	取組	【再掲】地域関係機関と連携した防災訓練の実施
	目標	【再掲】1回/実施

#### (5) 安全・安心、健康づくり

NO	具体的な取組及び目標 (成果指標)	
1	取組	学習及び学校介護場面における事故防止のための教員研修の実施
	目標	学校評価での安全・安心・健康に関する肯定的評価90%以上 研修会3回/年実施 人為的なミスによる事故0件
2	取組	安全点検日を設けるなどして施設・設備等に関する安全管理の徹底
	目標	施設・設備の瑕疵等による学校事故0件
3	取組	家庭等と連携し基本的な生活習慣の確立及び健康の三原則(栄養・運動・休養)に関する情報を提供することなどにより児童・生徒の体力向上等を促進
	目標	保健便り・給食便り・生活指導等の便りの1回程度/月発行
4	取組	養護教諭、看護師等による健康観察及び医療的ケアの適切な実施
	目標	食物アレルギー及び医療的ケアに関する学校事故0件
5	取組	スクールバス、医療的ケア専用車両の安全かつ円滑な運行
	目標	スクールバス関係での事故件数0件 保護者の負担軽減に関する肯定的評価90%以上

#### (6) 広報、地域交流、地域支援等

NO	具体的な取組及び目標 (成果指標)	
1	取組	ホームページ等を有効活用した情報発信
	目標	学校評価における保護者のHPに関する肯定的評価90%以上
2	取組	地域交流・学校間交流及び社会貢献活動等の地域と連携した教育の充実
	目標	地域交流・学校間交流、社会貢献活動の充実 両部門で10回以上/年実施
3	取組	副籍制度による交流及び共同学習等の実施
	目標	交流及び共同学習の希望者全員実施(100%)
4	取組	高等学校の発達障害教育等に関する支援の強化
	目標	情報交換会 各校2回/年実施
5	取組	就学相談及び入学相談における保護者等への情報提供の充実
	目標	入学相談等における情報提供に関する保護者の肯定的評価90%以上

#### (7) 学校運営・組織体制

NO	具体的な取組及び目標 (成果指標)	
1	取組	定時退庁日、学校閉庁日の設定等による超過勤務時間の削減
	目標	全教職員の年間での平均超過勤務時間30時間以下/月

2	取組	教職員の心身の健康の保持・促進
	目標	健康診断受診率100%及び要医療者の確実な医療機関の受診
3	取組	全教職員の服務規範意識の向上
	目標	服務事故防止研修3回以上/年実施、服務事故0件
4	取組	クリーンデスクと適切な個人情報管理の徹底及び環境整備日の設定
	目標	クリーンデスクチェック1回/週、環境整備日1回/月 クリーンデスクに関する教員の肯定的評価90%以上 個人情報紛失等の事故0件
5	取組	Teamsを有効活用した教職員間の情報共有の充実及び時間短縮と効率化促進
	目標	学校評価における教職員の情報共有化に関する肯定的評価90%以上

#### 【備考】

「日本一やさしい学校」とは、第3代校長 池田敬史先生が、当時のあきる野学園のテーマとし、10の具体的な取組みを示されました。あきる野学園における各教育活動等の不易の精神であり、進化・発展が激しく、予測不可能な時代において、改めて大切にしたい理念として示すこととしました。